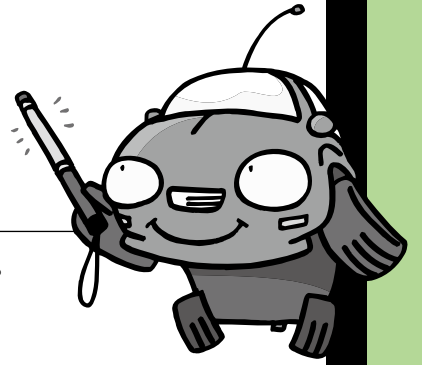


みんなでつくる 交通事故のない安全なまち



4月6日(木)から15日(土)の間、春の全国交通安全運動が実施されます。一人ひとりが安全を意識して、未然に交通事故を防ぎ、安全な毎日を送りましょう。

春の全国交通安全運動の3つの重点

①子どもと高齢者の交通事故防止

新入学園児・学童に、交通安全指導などを通じて正しい交通ルールを教えましょう。運転者は高齢者の安全について配慮し、高齢者は車が気づいてくれると思わず安全確認をしっかりとしましょう。

②自転車の安全利用の推進

昨年、県内で自転車を利用中に亡くなった方は27人で、前年比で8人増加しています。主な事故原因が安全不確認などであることから、自転車に乗る際にはルールとマナーを守りましょう。

③シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
県内のシートベルトの着用率は92.6%、チャイルド

シートは57.1%です。シートベルトやチャイルドシートは、事故から身を守る命綱になります。車に乗るときは、運転手や助手席はもちろんのこと、後部座席でもシートベルトを着用しましょう。また、6歳未満の子どもにはチャイルドシートを着用させましょう。

平成18年 広島県交通安全年間スローガン

思いやる 心ひとつで 事故はゼロ

子どもたちの安全を守ろう

この時期は、新入生・新入園生が慣れない道を通うことが多く、登下校時などの交通事故が心配されます。悲惨な交通事故を減らすために、次のようなことを心がけ、交通事故防止に努めましょう。



しっかりと締めましょう

●チャイルドシートの活用

子どもの交通事故のうち、ほぼ半分は乗車中に起こっています。車に乗せるときは特に安全運転に心がけ、チャイルドシートやジュニアシートを活用しましょう。

●家庭での交通安全指導

子どもと一緒に通学路を歩き、横断や安全確認の仕方、気をつける場所などを確認し、道路では遊ばせないようにしましょう。

また、家を出るときは「車に気をつけて」とひと声かけてあげましょう。

●安全な服装

雨や雪の日には、普段より安全で歩きやすい服装を心がけましょう。帰りが夕方など遅くなるときは、反射材用品を着用させましょう。

市民生活課生活安全係

☎0824-73-1154

●急な飛び出しに気をつける

小学校や幼稚園、公園などの付近では、子どもがいつ飛び出してくるかわかりません。周囲の状況を把握し、スピードを落とし一時停止や徐行するなど、普段以上に安全運転に心がけましょう。